

## ペルー

## 主要データ

国名（英名）	ペルー共和国（Republic of Peru）
面積（k m <sup>2</sup> ）	1,285,216
海岸線延長（km）	2,414
人口（百万人）	31.0
人口密度（人/k m <sup>2</sup> ）	24.1
GDP（十億 US\$）	210.00
一人当たり GDP（US\$）	6,766.19
主要鉱産物：鉱石	銅、亜鉛、鉛、金、銀、錫、モリブデン、タングステン、ビスマス、鉄
主要鉱産物：地金	銅、鉛、亜鉛、錫、セレン、カドミウム
鉱業管轄官庁	エネルギー鉱山省（Ministerio de Energia y Minas）
鉱業関連政府機関	鉱山地質冶金研究所（Instituto Geologico Minero y Metalurgico：INGEMMET）
鉱業法	鉱業一般法（1992 年）
ロイヤルティ	最高政令 NO.180-2011-EF（ロイヤルティ法（2004 年法律 NO.28258）の施行細則を改正する最高政令）
外資法	民間投資法
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	環境一般法（法律第 28611 号、2005 年）、国家環境管理システムのフレームワークについての法律（法律第 28245 号、2004 年）、環境影響評価の国家システム（SEIA）についての法律（法律第 27446 号、2001 年）等
鉱業公社（環境）	Activos Mineros S. A. C.（AMSAC）
鉱業活動中の民間企業	BHP、Glencore、Freeport McMoRan、Buenaventura 等
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Bear Creek Mining 社の Santa Ana 銀・鉛・亜鉛プロジェクトでは 2011 年 4 月末以降反対運動が激化して多数の死傷者が発生、同年 6 月に政府が同鉱区を取り消した。これに対し、同社がペルー政府を相手取って提訴していた仲裁裁判において、2017 年 12 月に同社が勝訴する判決。ペルー政府からの賠償金等支払いを受け、同プロジェクトの権利を完全に放棄。</li> </ul>
2017 年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉱業投資額が 12 四半期ぶりに対前年同期比増（2017 年第 2 四半期）、2017 年通年でも前年比 17.8%増（3,928 百万 US\$）と回復傾向を維持。</li> <li>・ Kuczynski 前大統領の辞任を受けて、2018 年 3 月に Vizcarra 政権が発足。</li> <li>・ 新たな「探鉱に関する環境規則」の公布、「鉱業・エネルギーグッドプラクティスセンター」や「鉱業・エネルギー管理情報委員会」の設置など、投資促進に向けた政策を実施。</li> <li>・ 統一地方選挙（2018 年 10 月）では、Arequipa 州、Cajamarca 州、Puno 州、Junin 州等で反鉱業の態度を表明する首長が当選。</li> </ul>

## 1. 鉱業一般概況

ペルーは、我が国の非鉄金属資源確保上、最も重要な国の一つであるとともに、銅精鉱等の鉱産物が同国の総輸出額の約 62% (2017 年) を占める鉱業国である。ペルーは多様な鉱物資源に恵まれており、埋蔵量では銀 (世界第 1 位)、テルル (同 2 位)、銅 (同 3 位)、亜鉛 (同 3 位)、モリブデン (同 3 位)、セレン (同 3 位)、鉛 (同 4 位)、金 (同 7 位) 等が世界 10 指に入り (Mineral Commodity Summaries 2018, USGS)、2017 年の産出量では銀 (世界全体の 18.0%) や銅 (同 12.1%)、亜鉛 (同 10.6%) が世界第 2 位、鉛 (同 6.4%) とモリブデン (同 9.0%) が同 4 位、錫 (同 6.2%) が同 5 位、金 (同 4.9%) が同 6 位であった。

同国の鉱業投資額は、2013 年に過去最高額 (8,864 百万 US\$) となった後、2014 年以降は減少を続けていたが、2017 年第 2 四半期に 12 四半期ぶりとなる対前年同期比増となり、2017 年は 3,928 百万 US\$ と前年比 17.8% 増となった。この内訳としては、探鉱費が 484 百万 US\$ と前年 (377 百万 US\$) から 28.4% 増、鉱業機器費用が 491 百万 US\$ と前年 (387 百万 US\$) から 26.9% 増となったほか、インフラ費用が 1,557 百万 US\$ と前年 (1,079 百万 US\$) から大幅増 (44.3% 増) となった。

2017 年の鉱業投資額を州別にみると、上位から Arequipa 州 (529 百万 US\$、前年比 59.1% 増)、Tacna 州 (518 百万 US\$、同 35.1% 増)、Cusco 州 (386 百万 US\$、同 34.8% 増)、Ica 州 (375 百万 US\$、同 111.2% 増) となり、これらの地域ではいずれも前年から大幅な増加となった。また企業別に見ると、上位から Southern Peru Copper 社 (673 百万 US\$)、Cerro Verde 社 (303 百万 US\$)、Shougang Hierro Peru 社 (285 百万 US\$)、Antamina 社 (214 百万 US\$)、Buenaventura 社 (205 百万 US\$) となっている。

## 2. 鉱業政策の主な動き

前 Kuczynski 政権は、鉱業の推進を目的として、「新たな探鉱促進」、「プロジェクトの実現推進」、「操業の継続保証」、「インフォーマル鉱業合法化」の 4 つの目標を掲げるとともに、この十数年で複雑化した現行の鉱業関連法規を見直す方針を示してきた。その一環として、2017 年 12 月には、低環境負荷プロジェクトを対象とした新たなカテゴリー「環境調査票」(FTA: Ficha Tecnica Ambiental) の設定を含む、探鉱に関する環境保護規則を公布した。

2018 年 3 月に発足した Vizcarra 政権は、鉱業投資の促進が貧困対策と環境保全の唯一の方法であるとの見解のもと、エネルギー・鉱山省、環境省、農業省が恒常的に連携を図りつつ、停滞している鉱業プロジェクトの推進に重点をおくとの考えを示した。これに沿う形で、プロジェクト停滞の最大の要因である住民争議を念頭においた、「鉱業・エネルギー・グッドプラクティスセンターの設置」や「Canon 税法の一部改正」、「鉱業・エネルギー管理情報委員会の設置」に加えて、休廃止鉱山鉱害 (PAM) 対策への 425 百万ソール (約 126.4 百万 US\$) 投資、さらには税安定化契約の改善を主目的とした鉱業一般法の改正法案の提出など、矢継ぎ早に対策を打ち出している。

### (1) 探鉱に関する環境保護規則の公布

政府は 2017 年 12 月 22 日、新たな探鉱促進を目的として「探鉱活動における環境保護規則 (042-2017-EM)」を公布した。

この新規則では、従前の環境影響申告書 (DIA)、環境影響概要調査 (EIASd) といったカテゴリーの適用要件が緩和されたほか、低環境負荷プロジェクトに対するカテゴリーとして「環境調査票 (FTA: Ficha Tecnica Ambiental)」が新たに設置された。各カテゴリーの要件概要は以下のとおり。

- ・地質調査

地質調査、物理探査、地形図作成、小規模のサンプル採取などが対象。事前の許認可や承認は必要ないものの、地元の住民や環境に配慮した活動が必要。

- ・環境調査票 (FTA)

試錐座数が 20 カ所以下で一定の条件を満たす低リスクプロジェクトが対象。FTA の提出前に市民参加のワークショップ (政府当局が調整) の実施が規定されている。審査期間は 10 営業日。

- ・ 環境影響申告書 (DIA)  
試錐座数 40 カ所 (旧規則: 20 ヶ所)、影響下エリア 100ha、探鉱坑道 100m までの探鉱活動 (カテゴリーI) が対象。審査期間は 30 営業日 (旧規則: 45 営業日)。
- ・ 環境影響概要調査 (EIASd)  
700 カ所までの試錐座設置や 100m を超える探鉱坑道、パイロットプラント設置を含む活動 (カテゴリーII) が対象。審査日数は 90 営業日 (旧規則: 55 営業日)。

また、その他の新規則の主な変更点は以下のとおり。

内容	旧規則	新規則
環境認定書の有効期間	12~15 カ月	3~5 年
事前連絡	ITS (技術報告書) を提出	設備の位置、活動日程の変更は事前報告制度の利用可能 (ITS 提出不要)
閉鎖対策	5 年間、最終閉鎖証明書なし	2~4 年間、最終閉鎖証明書あり
活動期間	3 カ月まで延長可	6 カ月まで延長可

上記のとおり、全般的には要件の緩和が前面に出た改正となっているものの、審査プロセスにおける自動承認制度が廃止されるなど、環境省の所管する環境影響評価システム法との連携が強化されており、今後の方向性に注意を要する内容を含むものとなっている。

### (2) 鉱業・エネルギーグッドプラクティスセンターの設置

政府は 2018 年 8 月 1 日、最高政令 020-2018-EM を通じて、鉱業・エネルギーグッドプラクティス集約センターの設立を決定。同センターの目的は、①鉱業・エネルギーセクターの操業における環境、社会、地域コミュニティ関係及び資源利用等のテーマにかかるグッドプラクティスの推進と適用、②「2030 年に向けた鉱業戦略」に基づくイニシアチブの推進、③鉱業・エネルギーセクターの安定性やガバナンスに資する長期のハイレベル合意確保の 3 点。エネルギー鉱山省、米州開発銀行 (IDB) 及び GERENS 大学院により推進され、鉱業・エネルギーセクターにおけるグッドプラクティスの共有を推進すると共に、持続的な資源開発による国家発展に向けた産官学民による合意を目的とした対話や専門的ディスカッションが行われる計画となっている。

GERENS 大学院によると、本センターの構築にあたっては、カナダ (Centre for Excellence in Mining Innovation)、豪州 (Mining and Petroleum Services Centre of Excellence)、チリ (Valor Minero)、インド (International Centre of Excellence in Mining) 等の既存の類似機関が参照される見通しで、第 1 フェーズに合計 8 回の作業会を開催し、ペルーの基幹産業である鉱業開発を持続的・包摂的に実施し国全体の成長に貢献するためのロードマップ策定を目的とした「2030 年鉱業ビジョン」原案を完成させ、最終会合となる 2019 年 1 月に Vizcarra 大統領に提出する計画となっている。

### (3) 鉱業・エネルギー管理情報委員会の設置

Vizcarra 政権の掲げる、「効果的な地方分権化の達成による、国家政策の普及や全国における持続的開発戦略の促進」の目標に基づき、政府は Moquegua 州 (10 月)、Arequipa 州 (11 月) に「鉱業・エネルギー管理情報委員会」を設置。

同委員会は、各州内の鉱業・エネルギープロジェクト開発への住民の疑問や懸念に積極的に対応するほか、民間企業や中央政府による約束や責任の履行を監視することを目的としたもので、各州出身のエネルギー鉱山省代表者を委員長として、各州政府代表と専門書記によって構成される。これにより、住民が委員会に対して鉱業・エネルギープロジェクトにおける社会・環境関連の疑問や質問を問い合わせ、解消することができるようになるほか、地方では住民や自治体が抱える懸念に対して適切な情報を提供しきれていないことから、同委員会は各地に存在する社会争議の解決に貢献することが期

待されている。

なお、鉱業・エネルギー管理情報委員会は、エネルギー鉱山省の特定する優先基準に基づき、段階的（2018年：5州、2019年：8州）に各州に設置される計画となっている。

#### (4) Canon 税法の一部改正

2018年9月20日、Canon 税改正法（法律 30848）の一部を改正する法律が公布、施行された。

同改正法は Canon 税法（法律 27506）6条2項を改正するもので、これにより州政府をはじめとする地方自治体は、中央政府から配分される Canon 税（鉱山企業が納付する所得税の50%）を、住宅建設・上下水道省や Mivivienda 基金との協定に基づく公共住宅プロジェクト等の融資に活用することが可能となった。

また、これまで州政府に割り当てられる Canon 税のうち 20%が科学研究や同研究に必要なインフラ整備を実施する州内の国立大学に配分されると規定されていたのに加え、新たに 10%を専門学校に充当することが定められた。

他方、Ismodes エネルギー鉱山大臣は、地方の格差解消のためには Canon 税を活用した社会プロジェクトの実施が不可欠ながら、そのような視点から外れたプロジェクトに投じられたケースがあり、さらなる Canon 税法の改正が不可欠と言及している。

### 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

#### (1) 主要金属鉱石生産量

ペルー・エネルギー鉱山省によると、2017年のペルーの銅生産量は 2,446 千 t で、前年（2,354 千 t）から 3.9%増となった。2017年の世界の銅生産量は、前年比で 1.9%減の 19.76 百万 t であり、ペルーの世界生産順位は、チリ（5.33 百万 t、27.0%）に次ぐ第 2 位（世界生産量の約 12.4%）を堅持した。2017年の銅の輸出先は、第 1 位が中国 59.8%（8,237 百万 US\$）で前年の 61.4%（6,238US\$）から微減、第 2 位が日本 8.5%（1,174 百万 US\$）、第 3 位が韓国 6.1%（835 百万 US\$）となっている。

2017年亜鉛生産量は 1.47 百万 t で、前年（1.34 百万 t）から 9.7%増となり、中国（5.1 百万 t、38.5%）に次ぐ世界第 2 位（世界生産量の 11.2%）を維持した。2017年の亜鉛の輸出先は、第 1 位が中国で 23.4%（555 百万 US\$）、第 2 位が韓国 17.9%（426 百万 US\$）、第 3 位がスペイン 13.6%（322 百万 US\$）で、日本が第 5 位（236 百万 US\$、9.9%）となっている。

2017年金生産量は 151 t で、前年（153 t）から 1.3%減となり、中国（440 t、約 14.0%）、豪州（300 t、約 9.5%）、ロシア（255 t、約 8.1%）等に次ぐ第 6 位（世界生産量の約 4.8%）である。ペルー第 1 位の金生産者である Yanacocha 鉱山は 2009 年以降減産傾向にあり 2017 年は前年比 20.0%減と大幅な減少となったが、Buenaventuras 社や Poderosa 社等の鉱山での増産がこれを補った形となった。また銀生産量は 4,304 t で前年（4,375 t）から 1.6%減となり、メキシコ（5,600 t、22.6%）に次いで、第 2 位（世界生産量の約 17.3%）であった。

表 3-1. 主要金属鉱石生産量

鉱種	2015 年 (千 t)	2016 年 (千 t)	2017 年 (千 t)	対前年増 減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
銅	1,700.8	2,353.9	2,445.6	3.9	12.1	2
亜鉛	1,421.5	1,334.3	1,473.0	10.4	11.1	2
鉛	315.8	314.4	306.8	-2.4	6.2	4
錫	19.5	18.8	17.8	-5.3	4.8	6
鉄鉱石	7,320.8	7,663.1	8,668.1	13.1	0.3	16

モリブデン	20.2	25.8	28.1	9.3	9.2	4
金 (t)	146.8	153.0	151.1	-1.2	5.1	6
銀 (t)	4 102.1	4,375.3	4,303.5	-1.6	17.4	2

出典：ペルー・エネルギー鉱山省、World Metal Statistics Yearbook 2018

## (2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 主要金属地金生産量

鉱種	2015年 (千t)	2016年 (千t)	2017年 (千t)	対前年増 減比(%)	世界シェア (%)	ランク
亜鉛	335.4	341.5	312.3	-8.5	2.3	10
錫	20.4	19.4	17.9	-7.7	4.9	5
セレン (t)	71.0	78.0	65.0	-16.7	1.6	13

出典：World Metal Statistics Yearbook 2018

## (3) 主要金属地金消費量

僅少

## (4) 主要金属輸出量

ペルーの2017年の輸出総額は44,918百万US\$で前年(37,020百万US\$)に比べて21.3%増加した。このうち鉱産物輸出額の合計は、輸出総額の約61.7%に当たる27,745百万US\$であり、前年(22,417百万US\$)に比べて23.8%の増加となった。主要鉱産物の生産量は微増あるいは横ばいに留まることから、鉱産物輸出額の顕著な伸びは金属価格の上昇による影響が大きい。

表 3-3. 主要金属輸出量

鉱種	2015年 (千t)	2016年 (千t)	2017年 (千t)	対前年増 減比(%)	主な輸出相手国
鉄鉱石	12,877.9	12,859.6	15,585.9	21.2	中国、日本、ベルギー
銅					
鉱石	1,335.2	1,948.0	2,050.1	5.2	中国、日本、韓国
地金	286.1	276.3	294.5	6.6	中国、イタリア、ブラジル
錫地金	21.0	19.0	18.0	-5.3	米国、オランダ、スペイン
鉛					
鉱石	626.0	580.9	488.4	-15.9	韓国、中国、カナダ
地金	4.6	6.5	11.6	78.7	米国、ブラジル、コロンビア
亜鉛					
鉱石	2,035.5	1,902.9	2,174.0	14.3	韓国、中国、スペイン
地金	256.9	271.3	246.2	-9.3	米国、コロンビア、日本、チリ

出典：World Metal Statistics Yearbook 2018, World Metal Statistics May 2018, International Trade Centre

## (5) 主要金属輸入量

表 3-4. 主要金属輸入量

鉱種	2015年 (千t)	2016年 (千t)	2017年 (千t)	対前年増 減比(%)	主な輸入相手国
亜鉛鉱石	6.6	0.1	0.0	-99.6	ドイツ
クロム鉱石	2.9	3.8	4.4	16.9	南ア、スペイン、オランダ
鉛鉱石	0.0	1.0	0.0	-98.8	エクアドル
チタン鉱石	0.4	0.4	0.4	3.9	メキシコ、豪州、南ア
マンガン鉱石	0.2	0.3	0.4	46.9	メキシコ、中国、インド
モリブデン鉱石	0.02	0.03	0.04	18.3	チリ
銅鉱石	0.1	7.8	14.2	82.9	エクアドル、ブラジル、メキシコ
フェロニオブ (t)	48.0	27.0	2.0	-92.6	米国、ブラジル

出典：Global Trade Atlas



## 4. 鉱山・製錬所状況

銅、亜鉛、金等の主要鉱山について、表 4-1 に、また、主要製錬所について、表 4-2 に示す。

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業（権益：％）	鉱種	2017年 生産量(千 t)	備考
Cerro Verde	Freeport McMoRan (53.56)、 Buenaventura (19.58)、住友金属 鉱山 (16.8)、住友商事 (4.2) 他	銅（精鉱中含量）	465	
		銅（Sx-Ew）	37	
		銅（合計）	502	
Antamina	BHP (33.75)、Glencore (33.75)、 Teck Resources (22.5)、三菱商事 (10)	銅（精鉱中含量）	439	
		亜鉛	442	
		鉛	17	
Las Bambas	MMG	銅（精鉱中含量）	453	
Toromocho	Chinalco	銅（精鉱中含量）	195	
Antapaccay	Glencore	銅（精鉱中含量）	206	
		銅（Sx-Ew）	0	
		銅（合計）	206	
Cuacone	Southern Copper (Grupo Mexico)	銅（精鉱中含量）	158	
		銅（Sx-Ew）	3	
		銅（合計）	161	
Toquepala	Southern Copper (Grupo Mexico)	銅（精鉱中含量）	123	
		銅（Sx-Ew）	22	
		銅（合計）	145	
Constancia	Hudbay Minerals	銅（精鉱中含量）	122	
Cerro Lindo	Nexa Resources	銅（精鉱中含量）	45	
		亜鉛	163	
		鉛	17	
Corquijirca	Buenaventura (53.76)	銅（精鉱中含量）	46	
		亜鉛	54	
		鉛	24	
Carolina	Gold Fields	銅（精鉱中含量）	31	
Cobriza	Doe Run	銅（精鉱中含量）	12	
Chungar (Animon)	Volcan	亜鉛	90	
		鉛	23	
San Cristobal	Volcan	亜鉛	55	
		鉛	6	
Carahuacra	Volcan	亜鉛	43	
		鉛	3	
Raura	Minera Raura	亜鉛	54	
		鉛	21	
El Porvenir	Nexa Resources	亜鉛	48	
		鉛	16	
Catalina Huanca	Trafigura Beheer	亜鉛	47	
		鉛	4	
Americana	Casapalca	亜鉛	38	
		鉛	6	
Yanacocha	Newmont (51.35)、Buenaventura (43.65)、住友商事 (5)	金(t)	16	
Lagunas Norte	Barrick Gold	金(t)	12	
M. D. D	Madre de Dios	金(t)	12	
Curabamba	Consorcio Minero Horizonte	金(t)	7	
La Arena	Tahoe Resources	金(t)	6	
Retamas	Aurifera Retamas	金(t)	6	
Orcopampa	Buenaventura	金(t)	6	
Carolina	Gold Fields	金(t)	5	
Tantahuatai	Southern Copper (44.2)、 Buenaventura (40.1) 他	金(t)	5	
Inmaculada	Hochschild Mining	金(t)	5	
La Zanja	Buenaventura (53.06)、Newmont	金(t)	4	
San Rafael	Minsur	錫	18	
Shougang	Shougang	鉄	8,668	

出典：エネルギー鉱山省

表 4-2. 製錬所一覧

製錬・精錬所名	権益所有企業（権益：％）	鉱種・形態	2017年 生産量(千t)	備考
Ilo	Grupo Mexico(80.9%)	銅（製錬） 銅（精錬）	317 268	
La Oroya	Doe Run	銅（精錬） 亜鉛（精錬） 鉛（精錬）	0 0 0	操業停止、精算手続き中
Cajamarquilla	Nexa Resources	銅（精錬） 亜鉛（精錬）	5 312	
Funsur	Minsur	錫（精錬）	18	

出典：エネルギー鉱山省



図 1. 主要鉱山、製錬所位置図



5. 探鉱状況等

表 5-1. 主要プロジェクト一覧

建設開始	操業開始	プロジェクト名	企業名	県	露天/坑内	鉱種	現状	環境調査書	投資額
建設中	2018	Ampliación Toquepala	Southern Peru Copper Corporation, Sucursal del Peru	Tacna	露天	銅	建設	承認済	1,255
	2018	Ampliación Marcona	Shougang Hierro Peru S.A.A.	Ica	露天	鉄	建設	承認済	1,300
	2018	Ampliación Shahuindo(fase II)	Shahuindo S.A.C.	Cajamarca	露天	金	建設	承認済	109
2018	2021	Ampliación Pachapaqui	ICM Pachapaqui S.A.C.	Áncash	坑内	亜鉛	F/S	承認済	117
	2020	Ampliación Toromocho	Minera Chinalco Perú S.A.	Junín	露天	銅	F/S	承認済	1,300
	2020	Ariana	Ariana Operaciones Mineras S.A.C	Junín	坑内	銅	詳細設計	承認済	125
	2021	Corani	Bear Creek Mining S.A.C.	Puno	露天	銀	詳細設計	承認済	585
	2021	Mina Justa	Marcobre S.A.C.	Ica	露天	銅	詳細設計	承認済	1,348
	2022	Pampa de Pongo	Jinzhao Mining Perú S.A.	Arequipa	露天	鉄	詳細設計	承認済	2,500
	2019	Quecher Main	Minera Yanacocha S.R.L.	Cajamarca	露天	金	詳細設計	承認済	300
	2022	Quellaveco	Anglo American Quellaveco S.A.	Moquegua	露天	銅	詳細設計	承認済	4,882
	2020	Relaves B2 San Rafael	Minsur S.A.	Puno	n/a	錫	詳細設計	承認済	200
	2019	2020	Ampliación Bayóvar	Compañía Minera Miski Mayo S.R.L.	Piura	露天	リン鉱石	F/S	承認済
2021		Ampliación La Arena (fase II)	La Arena S.A.	La Libertad	露天	金	F/S	承認済	130
2020		Ampliación Santa María	Compañía Minera Poderosa S.A.	La Libertad	露天	金	F/S	承認済	114
2021		Optimización Lagunas Norte	Minera Barrick Misquichilca S.A.	La Libertad	露天	金	F/S	承認済	640
2022		Pukaqaqa	Nexa Resources Perú. S.A.A.	Huancavelica	露天	銅	F/S	承認済	706
2020	2022	Anubia	Anubia S.A.C.	Apurímac	露天	銅	Pre F/S	未提出	90
	2023	Corocochuayco	Compañía Minera Antapaccay S.A.	Cusco	露天・坑内	銅	F/S	承認済	590
	2022	Trapiche	El Molle Verde S.A.C	Apurímac	露天	銅	Pre F/S	未提出	650
	2023	Zafranal	Compañía Minera Zafranal S.A.C.	Arequipa	露天	銅	F/S	未提出	1,160
2021	2024	Fosfatos Pacífico	Fosfatos del Pacífico S.A.	Piura	露天	リン鉱石	F/S	承認済	831
	2024	Haqira	Minera Antares Perú S.A.C.	Apurímac	露天・坑内	銅	Pre F/S	作成中	2,824
	2022	Los Chancas	Southern Perú Copper Corporation, Sucursal del Perú	Apurímac	露天	銅	Pre F/S	未提出	2,800
	2023	Magistral	Nexa Resources Perú. S.A.A.	Áncash	露天	銅	F/S	承認済	480
	2023	Ollachea	Minera Kuri Kullu S.A.	Puno	坑内	金	詳細設計	承認済	178
	2023	Quicay II	Corporación Minera Centauro S.A.C.	Pasco	露天	金	Pre F/S	未提出	400
	2023	San Gabriel (Ex Chucapaca)	Compañía de Minas Buenaventura S.A.A.	Moquegua	坑内	金	Pre F/S	承認済	450
	未定	未定	Accha	Exploraciones Collasuyo S.A.C.	Cusco	露天・坑内	亜鉛	Pre F/S	未提出
Antilla			Panoro Apurímac S.A.	Apurímac	露天	銅	Pre F/S	未提出	603
Cañariaco			Cañariaco	Lambayeque	露天	銅	F/S	未提出	1,600
Cañón Florida (Ex Bongará)			Nexa Resources Perú. S.A.A.	Amazonas	坑内	亜鉛	F/S	未提出	214
Conga			Minera Yanacocha S.R.L.	Cajamarca	露天	金	F/S	承認済	4,800
Cotabambas			Panoro Apurímac S.A.	Apurímac	露天	銅	Pre F/S	未提出	1,486
Don Javier			Junefield Group S.A.	Arequipa	露天	銅	Pre F/S	未提出	600
El Galeno			Lumina Copper S.A.C.	Cajamarca	露天	銅	Pre F/S	未提出	3,500
El Padrino (Ex Hilarión)			Nexa Resources Perú. S.A.A.	Áncash	坑内	亜鉛	F/S	作成中	470
Fosfatos Mantaro			Mantaro Perú S.A.C.	Junín	露天	リン鉱石	Pre F/S	未提出	850
Hierro Apurímac			Apurímac Ferrum S.A.	Apurímac	露天	鉄	Pre F/S	未提出	2,900
La Granja			Río Tinto Minera Perú Limitada S.A.C.	Cajamarca	露天	銅	Pre F/S	未提出	5,000
Los Calatos			Minera Hampton Perú S.A.C	Moquegua	露天	銅	Pre F/S	作成中	655
Macusani			Macusani Yellowcake S.A.C.	Puno	露天	ウラン	Pre F/S	未提出	300
Michiquillay			Southern Perú Copper Corporation, Sucursal del Perú	Cajamarca	露天	銅	Pre F/S	未提出	2,500
Quechua			Compañía Minera Quechua S.A.	Cusco	露天	銅	F/S	未提出	850
Racaycocha Sur			Minera Peñoles de Perú S.A.	Áncash	n/a	銅	Pre F/S	未提出	1,000
Río Blanco			Río Blanco Copper S.A.	Piura	露天	銅	F/S	未提出	2,500
Rondoní			Compañía Minera Vichaycocha S.A.	Huánuco	n/a	銅	Pre F/S	未提出	250
San Luis			Reliant Ventures S.A.C.	Áncash	坑内	銀	F/S	承認済	100
Tía María	Southern Perú Copper Corporation, Sucursal del Perú	Arequipa	露天	銅	詳細設計	承認済	1,400		
<b>合計</b>								<b>49件</b>	<b>58,507</b>

出典：エネルギー鉱山省

エネルギー鉱山省によると、2018年3月時点の、鉱山拡張、鉱山開発、探鉱などの主要プロジェクトが49件あるとされ、これら49件のプロジェクト実施期間中の総投資予定額は合計で58,507百万US\$に上る(表5-1)。主要49プロジェクトのうち、鉱山拡張が8件で投資予定額4,845百万US\$(総額の8.3%)を占める。また、ステージごとにみると、開発工事が3件(投資予定額2,664百万US\$、4.6%)、詳細設計が9件(同11,518百万US\$、19.7%)、経済性評価が18件(同17,122百万US\$、29.2%)、プレ経済性評価が19件(同27,204百万US\$、46.5%)であり、探鉱が初期段階であるものや小規模なものは含まない。これら49プロジェクトの内、26件は銅を主対象とするプロジェクトで、投資予定額は40,155百万US\$、総投資予定額の68.6%を占める。

また、これを親会社の国別資本で見ると、第1位は中国(11,700百万US\$、20.0%)、第2位は米国(11,512百万US\$、19.7%)、第3位はカナダ(9,783百万US\$、16.7%)となっている。また、州別では、第1位がCajamarca州(16,209百万US\$、27.7%)、第2位Apurimac州(11,353百万US\$、19.4%)、第3位Moquegua州(5,987百万US\$、10.2%)と続く。

地質鉱業冶金研究所(INGEMMET)によれば、2017年における鉱区申請件数は5,831件で前年(5,306件)に比べて9.9%増加した。

## 6. 我が国との関係

### (1) 日本への金属鉱物等輸出

#### ①銅鉱石

2017年の日本への銅鉱石(精鉱を含む)の実績輸出量は834.6千t、実績輸出額は143,402百万円で、それぞれ前年比9.5%増、73.9%増となった。2017年の日本の銅鉱石(精鉱を含む)の総輸入量4,732千tの17.6%を占め、チリの2,093千t(44.2%)に次ぐ第2位の輸入相手国となっている。

#### ②亜鉛鉱石

2017年の日本への亜鉛鉱石(精鉱を含む)の実績輸出量は188.1千t、実績輸出額は21,818百万円で、それぞれ前年比4.4%増、61.6%増となった。2017年の日本の亜鉛鉱石(精鉱を含む)の総輸入量819千tの23.0%を占め、豪州(171千t、20.9%)を抜いて、ポリビア(212千t、25.9%)に次ぐ第2位の輸入相手国となっている。

#### ③鉛鉱石

2017年の日本への鉛鉱石(精鉱を含む)の実績輸出量は6.1千t、輸出実績額は2,095百万円で、前年比80.2%減、74.5%減と大幅な減少となった。2017年の日本の鉛鉱石(精鉱を含む)の総輸入量123千tの4.9%を占め、豪州の47.6千t(38.6%)、米国の37.7千t(30.5%)、ポリビアの20.8千t(16.9%)に次ぐ、第4位の輸入相手国となっている。

表 6-1. 日本への精鉱及び地金輸出入量（グロス量）

鉱種	2015 年 (千 t)	2016 年 (千 t)	2017 年 (千 t)	対前年増 減比(%)
銅				
鉱石	563.0	762.0	834.6	9.5
地金	-	-	0.5	-
亜鉛				
鉱石	183.1	180.2	188.1	4.4
地金	13.0	6.2	7.1	14.6
鉛				
鉱石	20.6	30.7	6.1	-80.2
地金	0.2	-	-	-
錫地金	1.1	1.5	1.3	-15.8
鉄鉱石	451.0	536.5	678.1	26.4
インジウム地金(t)	2.1	-	-	-

出典：財務省貿易統計

## (2) 日本企業による投資状況等

表 6-2. 日本企業による投資状況

段階	鉱山名	州	鉱種	操業開始年	日本企業(権益:%)	外国企業(権益:%)
操業中	Antamina	Ancash	Cu, Zn	2001 年	三菱商事(10%)	Glencore (33.75%)、BHP (33.75%)、Teck Resources(22.5%)
操業中	Cerro Verde	Arequipa	Cu	1977 年	住友金属鉱山(16.8%)、 住友商事(4.2%)	FCX(53.56%)、Buenaventura(19.58%)
操業中	Huanzala	Ancash	Zn	1968 年	三井金属鉱業(100%)	
操業中	Pallca	Ancash	Zn	2006 年	三井金属鉱業(100%)	
準備中	Quellaveco	Moquegua	Cu	2022 年 (見込み)	三菱商事(40%)	Anglo American(60%)
準備中	Zafranal	Arequipa	Cu		三菱マテリアル(20%)	Teck Resources(80%)
準備中	Quechua	Cusco	Cu		PPC(100%)	

## 7. その他トピックス

## (1) 統一地方選挙

2018 年 10 月 7 日にペルー全土において統一地方選が、また同 12 月 9 日にその決選投票が実施された。選出対象は 25 の州知事、196 の郡・市長、及び村長で、2015 年の憲法改正により地方自治体首長の連続再選が禁止されたことから、今回の選挙により全首長が総入れ替えとなる。任期は 2019 年 1 月から 4 年間。

主要な鉱業地域では、本選により Puno 州や Junin 州で鉱業に批判的な候補者が当選した一方、鉱業投資の約 6 割が集中する Arequipa 州、Apurimac 州、Cajamarca 州では最高得票が 30%に満たず決選投票に進み、Arequipa 州では反鉱業派の候補が当選した。また、Cajamarca 州では、明確な反鉱業を示す MAS 党の候補者が決選投票への進出が阻まれたほか、区長も前回選挙（2014 年）の 26 区から 11 区に大幅減となり、反鉱業の支持層の縮小が伺えたものの、州知事に当選した候補者が早々に反鉱業的な

メッセージを発信している。

主要鉱業地域の当選者と鉱業分野へのスタンス等は以下のとおり。

【Junin 州：Vladimir Cerron 氏】

2011 年から 2014 年まで同州知事を務めた人物。Canon 税やロイヤルティを納付しない鉱山企業が存在し住民が不利益を被っているとの主張、(鉱業に由来する)利益の配分率を変更するための憲法改正を提案している。

【Puno 州：Walter Aduviri】

2011 年に Santa Ana 銀プロジェクトへの反対運動を率いた。ただし、今回の選挙直前(10 月 5 日)のインタビューにおいては「私は反鉱業主義者ではない」と発言、天然資源が全ての人に役立つ道を模索していきたいとの考えを示している。

【Moquegua 州：】

当選した Zenon Cueva 氏は、2008 年に Canon 税の配分を巡り Moquegua 州と Tacna 州が対立した際の抗議行動(「Moqueguazo」)のリーダーの一人だが、今回の選挙における政策提案では鉱業に対する批判は行わず、鉱業推進により同州の空港建設が可能になると主張。

【Arequipa 州】

当選した Elmer Caceres 氏は、2011 年から 2014 年まで Cayoma 郡知事を務め、Tia Maria 銅プロジェクトに反対を表明しているほか、Cerro Verde 銅鉱山がロイヤルティ 500 百万 Soles を支払うべきだと公言する等、反鉱業的な姿勢を持つ。

【Cajamarca 州】

当選した Mesias Guevara 氏は、農業、牧畜、観光を基幹産業とする提案を行っていたところ、当選直後に同州で停滞している Conga 銅開発案件については否定的な発言。

【Apurimac 州】

当選した Baltazar Lantron 氏は鉱業投資の促進を提案。

## (2) Michiquillay 銅プロジェクト

Michiquillay 鉱床はペルー最大規模の銅・金開発案件と言われ、2007 年の政府による入札で Anglo American が最低入札価格の約 10 倍の 403 百万 US\$ という破格の金額で落札。その後、開発に向けて地元住民とも合意し、探査を実施したものの、2014 年 12 月に撤退を表明。

その後、再び政府の管理下で、『自立型民間主導方式』による民営化が実施され、2015 年 8 月に Milpo が提案書を提出、政府投資促進庁(Proinversion)との間で提案内容に関する協議が行われたものの、2017 年 3 月、「Proinversion の修正依頼は市況に見合わず、同意できない」として提案を取り下げた。

これを受けて政府はあらためて 2018 年 2 月 20 日に入札を実施。過去に Anglo American や Milpo といった鉱山会社が二度にわたり撤退を余儀なくされたこともあり、入札の行方に関心が寄せられたが、Southern Copper 社が 400 百万 US\$ (ロイヤルティ 3%) で落札した。

本入札に際して、関心を表明し、事前審査を通過した企業はペルー国内外の 10 社(Southern Copper、Milpo、Buenaventura、Hudbay、Minsur、Compañía Minera Ares、Exploraciones Antacana、Río Tinto、Teck Perú、Wanbao Mining)で、このうち Southern Copper と Milpo の 2 社が応札した。両社が提示した条件は以下のとおり。

- ・ Milpo 社 250 百万 US\$ + ロイヤルティ 1.875%
- ・ Southern Copper 社 400 百万 US\$ + ロイヤルティ 3%

2007 年の前回入札では、Anglo American 社が 403 百万 US\$ で落札した一方、Southern Copper は不参加だった。また、今回の入札には Anglo American 社は参加しておらず、2 回連続で応札した Milpo は前回(385 百万 US\$)を下回る提示となった。

入札の結果を受けて Southern Copper は、Michiquillay 銅プロジェクトについて、資源量 1,150 百万 t、銅品位 0.63%、年間生産量 225,000t、マインライフ 25 年、必要投資額 2,500 百万 US\$ となる見

通しを示したほか、政府と地域コミュニティによるこれまでの関係構築を尊重の結果うえ、プロジェクトの開発にあたっていく方針を示した。

### (3) Santa Ana 銀・鉛・亜鉛プロジェクト

Santa Ana 銀プロジェクトは、2004 年から Bear Creek Mining 社によって進められていたが、河川や Titicaca 湖の汚染を恐れる地元住民らの反対運動が 2011 年 4 月以降激化、多数の死傷者が発生したことを受けて、同年 6 月に鉱業権が取り消された。

これに対し、同社が国連の国際投資紛争解決センター（ICSID）にペルー政府を相手取って提訴していた仲裁裁判において、2017 年 12 月、ICSID は同社の主張を認め、ペルー政府に対して同社に損害賠償 30.2 百万 US\$ の支払いを命じる最終判決が下された。本件について、同社は、2018 年 11 月にペルー政府から 32.2 百万 US\$ の支払いを受けたことを明らかにした。この金額は、本来の賠償金に加え、同社の弁護経費や利子が加算されたものとなっている。これを受けて同社は、同プロジェクトに係る全ての権利を放棄し、実施された調査の結果をペルー政府に提出するとのコメントを行った。

(2018.11.30 リマ事務所 栗原健一)